



# 今年の気象と水稲作況の 生育状況と刈取適期

農林総合研究所 作物部

# 作況について

## ○目的

品種、施肥量、栽培法をその地域の慣行に合わせたほ場において、一定の時期にその生育状況を調査し、当該年の生育の特徴や豊凶を予測するための資料を得る。

- ・ 令和7年度供試品種（供試年次）
  - 青天の霹靂（2015年～）
  - はれわたり（2021年～）
  - まっしぐら（2007年～）
- ・ 移植日：5月20日
- ・ 栽植密度、植付本数：21.2株/m<sup>2</sup>、  
4本/株（手植え）
- ・ 堆肥：100kg/a
- ・ 施肥量（N成分：基肥＋幼穂形成期追肥）

青天の霹靂	0.35＋0kg/a
はれわたり	0.5＋0.2kg/a
まっしぐら	0.5＋0.2kg/a



## 平均気温の推移（黒石アメダス）



5/20以降の平均気温は、7月末時点で**3°C程度高い**。  
特に6月以降が高温で推移している。

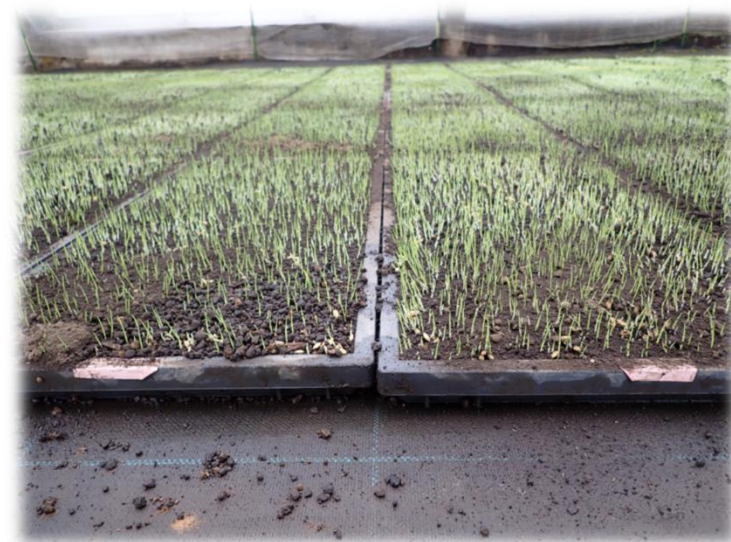
# 出芽状況

品種名	播種日	出芽揃期までの日数(日)			平均気温(℃)			日照時間(hr)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比
青天の霹靂	4月15日	4	4	同日	10.7	8.6	+2.1	23.5	29.5	80%
はれわたり		4	5	1日早						
まっしぐら		4	5	1日早						

注1)平年値は、「青天の霹靂」は10か年、「はれわたり」は4か年、「まっしぐら」は16か年の平均値(以下の表も同様)

2)平均気温、日照時間はアメダス値で播種～出芽揃期までの平均値及び積算値

出芽揃期までの日数はいずれの品種も  
4日で平年並み～1日早かった。



## 移植時の苗の生育

品種名	草丈(cm)			茎数(本)			葉齡(葉)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
青天の霹靂	<b>17.3</b>	18.9	-1.6	<b>1.0</b>	1.0	±0	<b>3.0</b>	3.1	-0.1
はれわたり	<b>17.8</b>	17.8	±0	<b>1.0</b>	1.0	±0	<b>3.1</b>	3.2	-0.1
まっしぐら	<b>17.2</b>	18.7	-1.5	<b>1.0</b>	1.0	±0	<b>3.1</b>	3.1	±0

品種名	地上部風乾重(g/100個体)			平均気温(℃)			日照時間(hr)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比
青天の霹靂	<b>2.20</b>	2.36	-0.16	<b>12.8</b>	11.5	+1.3	<b>183.2</b>	214.2	86%
はれわたり	<b>2.24</b>	2.28	-0.04						
まっしぐら	<b>2.15</b>	2.48	-0.33						

注1)平均気温、日照時間は黒石アメダス値で播種～移植前日までの平均値及び積算値

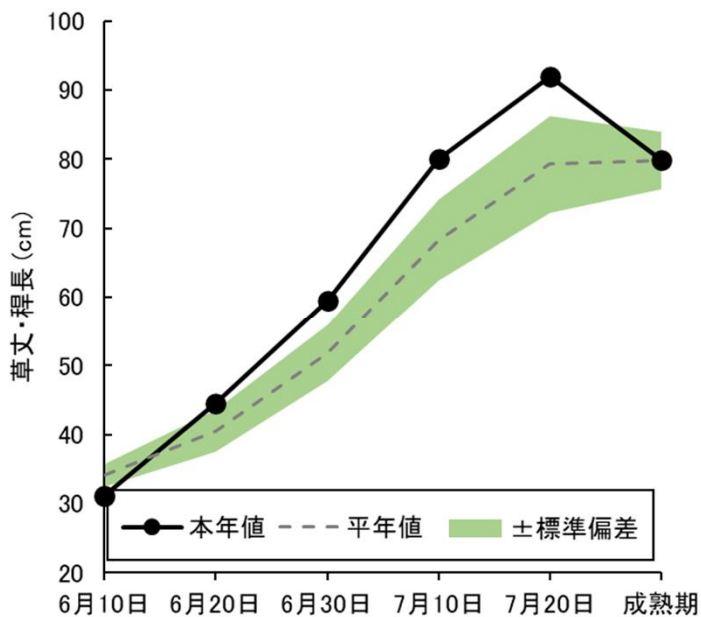
草丈は平年並から短く、葉齡は平年並から少なく、地上部風乾重は平年より軽かった。

## 分けっ期の気象

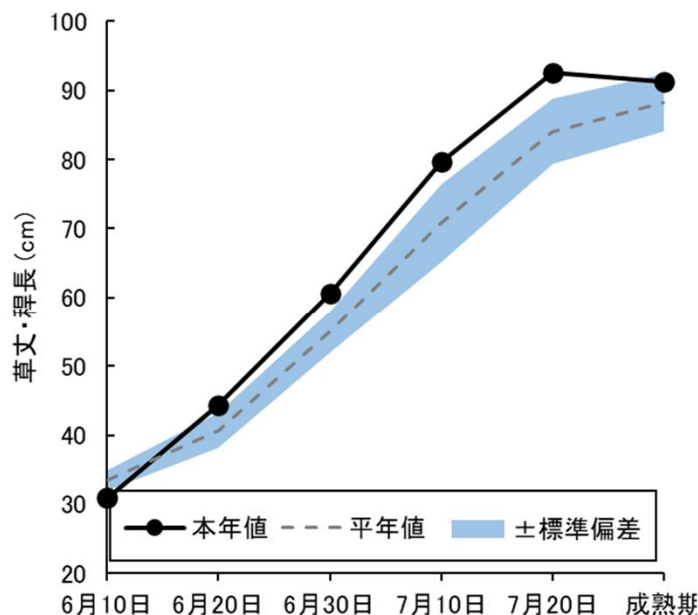
区 分	移植後日数	1～10	11～20	21～30	31～40	前半20日間	後半20日間
	暦 日	5/21～5/30	5/31～6/9	6/10～6/19	6/20～6/29	5/21～6/9	6/10～6/29
平均気温 (℃)	本 年	<b>14.2</b>	<b>17.6</b>	<b>21.6</b>	<b>23.1</b>	<b>15.9</b>	<b>22.4</b>
	平 年	15.5	16.7	17.7	19.0	16.1	18.4
	平年差	-1.3	+0.9	+3.9	+4.1	-0.2	+4.0
日照時間 (hr)	本 年	<b>63.2</b>	<b>75.8</b>	<b>69.5</b>	<b>63.1</b>	<b>139.0</b>	<b>132.6</b>
	平 年	68.3	67.8	57.9	54.2	136.1	112.1
	平年比	93%	119%	120%	116%	102%	118%

移植後 1～10日間は低温・少照だったが、11～20日以降は高温・多照で推移した。

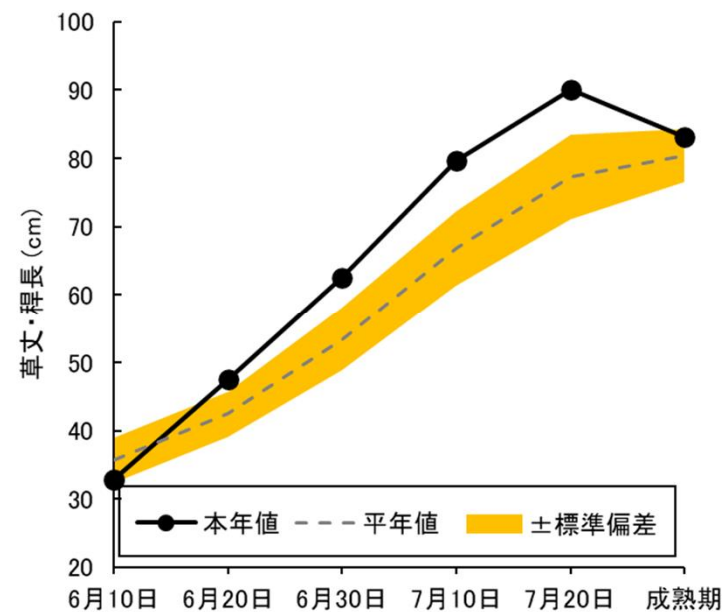
# 草丈・稈長の推移



青天の霹靂



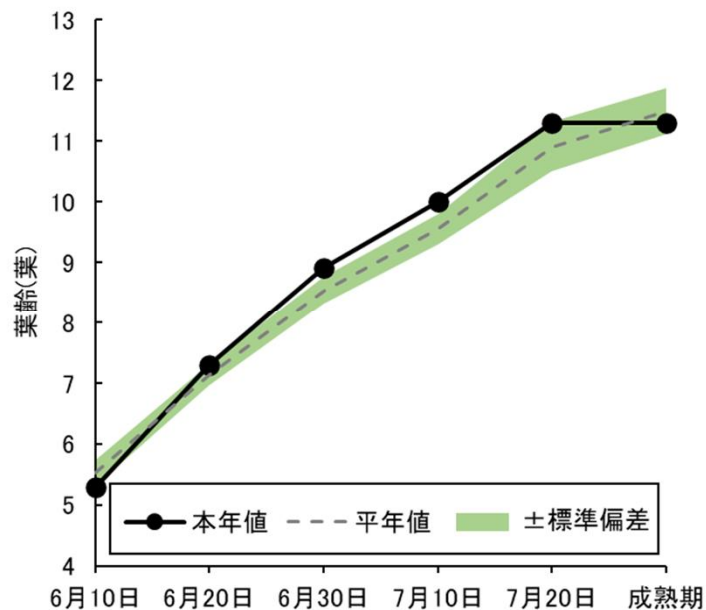
はれわたり



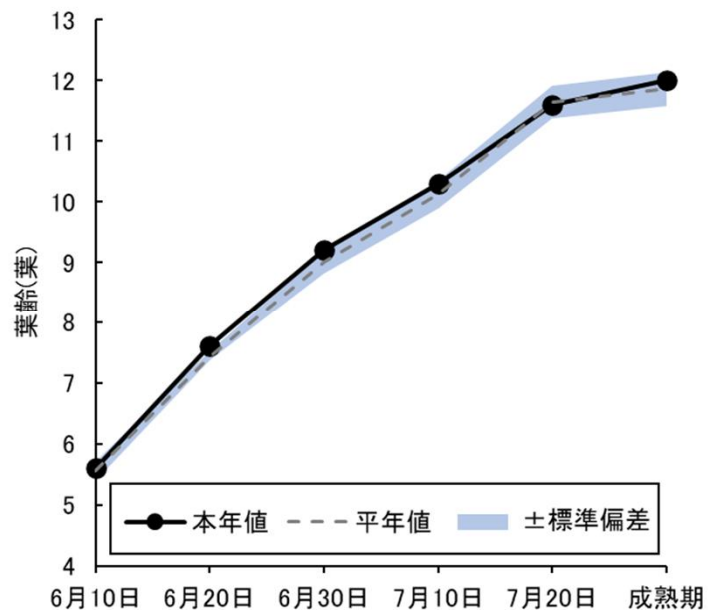
まっしぐら

草丈は移植直後は、平年より短いですが、6月20日以降は平年より長く推移した。

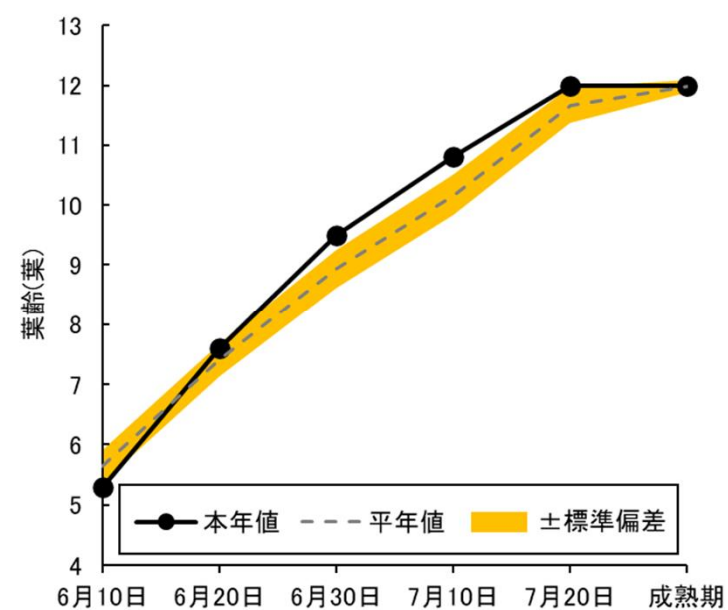
# 葉齢の推移



青天の霹靂



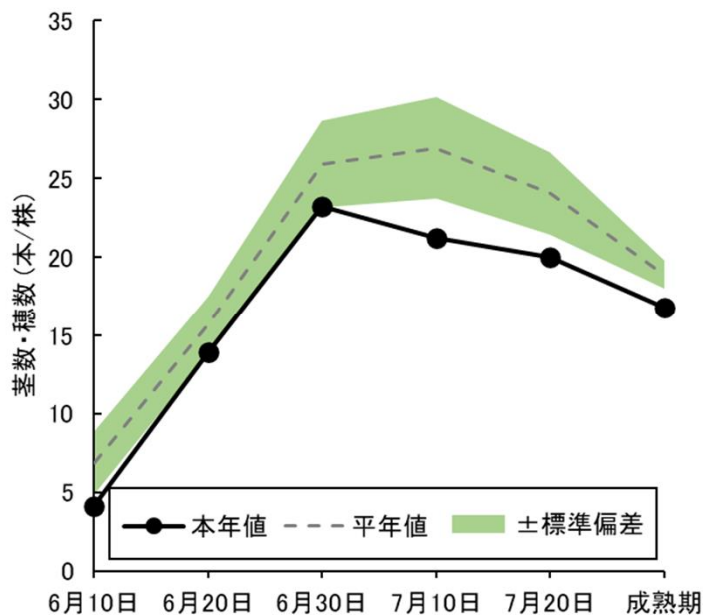
はれわたり



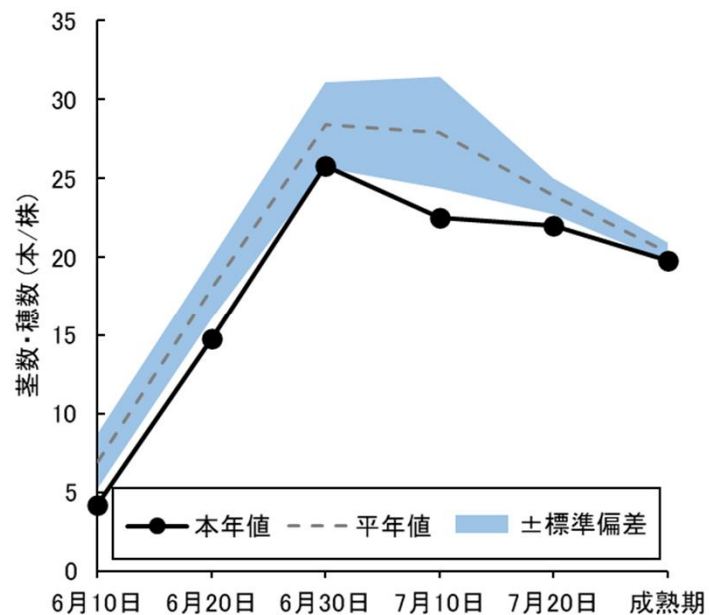
まっしぐら

葉齢は移植直後は、平年より少ないが、6月20日以降は平年より多く推移した。

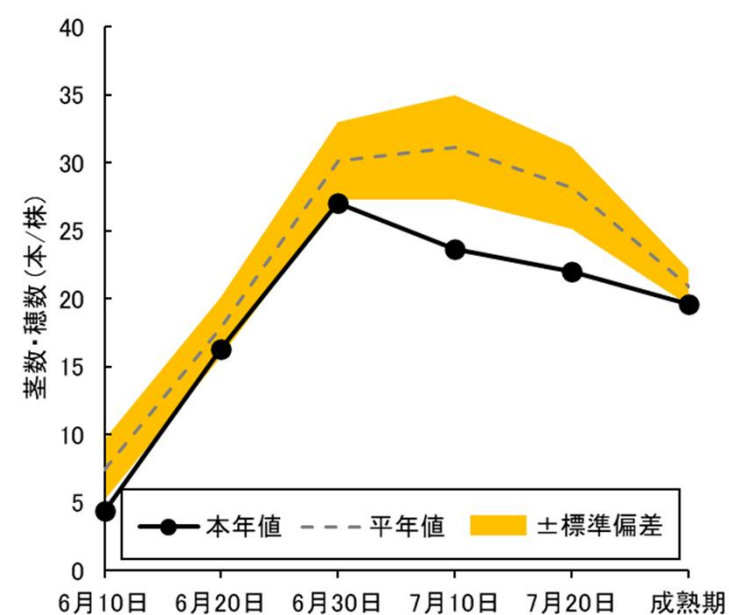
# 茎数・穂数の推移



青天の霹靂



はれわたり



まっしぐら

移植直後の低温・少照、6月以降の高温により茎数は平年より少なく推移した。

# 生育ステージ

品種名	幼穂形成期			出穂期			成熟期		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
青天の霹靂	<b>7月5日</b>	7月9日	7月5日	<b>7月25日</b>	8月1日	7月30日	<b>(8月31日)</b>	9月10日	9月7日
はれわたり	<b>7月4日</b>	7月6日	7月4日	<b>7月24日</b>	7月29日	7月29日	<b>(9月2日)</b>	9月9日	9月10日
まっしぐら	<b>7月3日</b>	7月8日	7月4日	<b>7月23日</b>	7月31日	7月28日	<b>(9月1日)</b>	9月13日	9月10日

注1)本年予測月日は「農なび青森」の水稻生育予測での予測値(8月20日現在)で、いずれの品種も移植時の苗の葉齢が3.3葉とした場合の予測結果

幼穂形成期は平年より2～5日早く、出穂期は5～8日早まった。  
刈取始期は「青天の霹靂」では8月31日、「はれわたり」では9月2日、「まっしぐら」では9月1日と予想される。

# 成熟期調査

品種名	稈長(cm)			穂長(cm)			穂数(本/株)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
青天の霹靂	<b>79.8</b>	79.8	±0	<b>19.7</b>	18.0	+1.7	<b>16.8</b>	19.1	-2.3
はれわたり	<b>91.2</b>	87.5	+3.7	<b>18.8</b>	17.0	+1.8	<b>19.8</b>	20.4	-0.6
まっしぐら	<b>83.1</b>	78.8	+4.3	<b>18.8</b>	17.9	+0.9	<b>19.6</b>	20.9	-1.3

品種名	穂数(本/m <sup>2</sup> )			有効茎歩合(%)			最終葉齢(葉)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比
青天の霹靂	<b>356</b>	405	-49	<b>72.4</b>	69.9	+2.5	<b>11.3</b>	11.5	-0.2
はれわたり	<b>420</b>	433	-13	<b>76.7</b>	69.4	+7.3	<b>12.0</b>	11.8	+0.2
まっしぐら	<b>416</b>	444	-28	<b>72.3</b>	66.9	+5.4	<b>12.0</b>	12.0	±0

稈長、穂長は平年並～長く、穂数は少なかった。  
有効茎歩合は高かった。

# 出穂後の気象

## ○「まっしぐら」

区 分	出穂後日数	1～10	11～20	21～30	出穂後30日間	出穂後6～10日	出穂後6～15日
	暦 日	7/24～8/2	8/3～8/12	8/13～8/22	7/24～8/22	7/29～8/2	7/29～8/7
平均気温	本 年	27.0	25.2			(31.7)	26.2
	平 年	23.4	23.6	23.0	23.3	(28.0)	23.7
	平年差	+3.6	+1.6			(+3.7)	+2.5
日照時間	本 年	94.2	79.5			(59.1)	79.5
	平 年	56.2	60.4	59.0	175.6	(28.6)	58.7
	平年差	168%	132%			181%	135%

注) 出穂後6～10日は最高気温を記載

出穂後も高温・多照で推移しており、**胴割粒の発生を助長する**  
**出穂後6～10日の最高気温が31.7℃と高温になっていることか**  
**ら、刈り遅れには注意が必要。**

## 刈取時期の目安

- ・ **籾の黄化**

ほ場全体の籾が **90%程度**黄化した時期  
(青天の霹靂は85%を目安)

- ・ **籾水分**

籾水分が **25~26%程度**まで低下した時期

- ・ **出穂後積算気温**

「青天の霹靂」は900°C

「はれわたり」は970°C

「まっしぐら」は960°C

を刈取始期の目安とする

- ・ **枝梗の黄化**

枝梗の2/3が黄化した時期



## 出穂後積算気温による刈取適期



青天の霹靂 (900°C~1000°C)

出穂期：7 / 25

**8月31日~9月5日**



はれわたり (970°C~1300°C)

出穂期：7 / 24

**9月2日~9月19日**



まっしぐら (960°C~1200°C)

出穂期：7 / 23

**9月1日~9月12日**

※平均気温は8/20までは本年値、8/21以降は平年値を使用。

# 「青天ナビ」、「はれナビ」、「まっしナビ」の活用



○青天ナビ  
<https://seitennoheki-sien.jp/>

○はれナビ、まっしナビ  
<https://aomorimai-sien.jp/>

衛星画像等から判定した刈取適期をスマートフォン等の端末から容易に閲覧できます。

# 登熟調査 (8 / 19 現在)



## 青天の霹靂

登熟歩合 : **71.6%**

1穂籾数 : 76.5粒

m2当たり籾数 : 29,205粒



## はれわたり

登熟歩合 : **73.0%**

1穂籾数 : 79.6粒

m2当たり籾数 : 34,764粒



## まっしぐら

登熟歩合 : **78.9%**

1穂籾数 : 82.5粒

m2当たり籾数 : 35,675粒

# 令和7年度の栽培における特徴

**移植後、除草剤の薬害が散見された。**

## 【原因】

- ・ 雪解けが遅く、春期に降雨が多かったことから耕起が遅れ、稲わらの分解が遅くなり、移植後に窒素飢餓やワキが生じた。
- ・ 5月下旬に低温・少照で、活着が遅くなった。
- ・ 根が十分に張っていない状態で除草剤が散布された。

## 対策

- ・ 移植後は浅水により活着を促し、活着後に除草剤を散布する。
- ・ 高密度播種苗は中苗に比べ、活着が遅いので注意する。



## 令和7年度の栽培における特徴

**分けつ期は、草丈が長く、葉齢が進み、茎数が少なかった。**

### 【原因】

- ・ 高温によって、光合成同化産物が夜間の呼吸、葉齢伸展に消費され、分けつを増やすために消費できなかった。

### 対策

- ・  $m^2$ 当たりの茎数を増やすため、坪あたり70株で移植を行なう。
- ・ 1株当たりの本数を中苗では3~4本、高密度播種苗では4~5本とし、植付け深を3cm程度とする。
- ・ 移植後は、初期生育確保のため浅水で管理する。
- ・ 徒長しないずんぐりとした苗作り。



ご清聴ありがとうございました。